

「ぽっかぽか心トーク」 処理

会 場	レディースファームスクール	日 時	平成27年11月6日 13時30分	人 数	1人
出席者	町長、副町長、教育長、地域戦略室長、地域戦略係長、広報広聴係長				

意 見・要 望	現 地 回 答	担 当 課 回 答
上佐幌の定住促進住宅（s46築）に入居希望している人がいて、壊すので入居できないということで断られたらしい。しかし、11月のお知らせしんとくにその住居が入居者募集として掲載されていた。	（副町長）確認させて頂いて回答します。	（施設課） 当初は老朽化及び汲み取り式トイレのため取り壊しで考えていましたが、複数の方よりとにかく安価で一人から入居できる住宅の需要があり、直営の大工で簡易な修理で対応可能と判断し、今回入居募集しました。
昨年も言っていたと思うが、老健施設の整備についてはどうなっているのか。	（副町長）今現在、規模など含め固まっているものはない状態です	（保健福祉課） 団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据えた地域包括ケアシステム構築及び医療介護連携推進を図るため、老人保健施設を中核とした高齢者が在宅で暮らし続けることができる仕組みづくりを検討しています。

「ぽっかぽか心トーク」 処理

会 場	屈足総合会館（講堂）	日 時	平成27年11月9日 18時30分	人 数	6人
出席者	町長、副町長、教育長、地域戦略室長、地域戦略係長、広報広聴係長				

意 見・要 望	現 地 回 答	担 当 課 回 答
岩の湯の跡地は町としての利活用方針はあるのか	（副町長） どういう用途に使うかは、まだ決まっています。	（総務課） 岩の湯の跡地の町有地については、まだ利活用の予定はありませんが、当面冬期間、一部を除雪の堆積場として利用する予定です。
プレミアム商品券は売れ残ったらどうするのか。売れ残った時の対応は。	（副町長） 地方創生交付金の関係で 12 月 15 日までの利用期限だがギリギリまで販売していく。	（産業課） プレミアム付商品券発売について、これまでに寄せられたご意見等を踏まえ、今年度は上限を低めに設定し、希望者に広く購入いただけるような販売方法にしました。現在、完売を目指し周知等を行っております。販売期間の終了時に売れ残りが生じた場合については、金券の取り扱い上、すでに使用期限が印刷済みの商品券の再利用は認められておらず、また、再印刷を行う等準備期間がかかることから、再販売や期間延長を実施する予定はありません。

意見・要望	現地回答	担当課回答
<p>働きたいお母さんにとって、土日に仕事がある場合もあるが、土日に子供を預けるところがない。土日の保育を考えられないか。現実に必要なとしている人はいる。</p> <p>そういう取り組みが住みやすい環境を作り、人口増につながる部分もあるのではないか。</p>	<p>(副町長) 実態を把握し、必要性も含めて検討していきます。</p>	<p>(児童保育課)</p> <p>土曜日については、在園児対象の「土曜保育」と、私的理由保育などの「一時預かり」を実施しております。</p> <p>日曜日は、各保育所(園)での保育は実施していません。ただし、平成25年8月より「ファミリーサポート事業」を実施しており、手助けのほしい方(利用会員)とお手伝いのできる方(援助会員)で会員組織を作り、曜日に関係なく地域で子育てをサポートする仕組みがあります。お気軽にご相談願います。</p> <p>なお、町内保育所(園)の担任等に確認したところ、日曜日の保育利用について必要性のある子どもは現在のところおりませんでした。</p>
<p>全町教育を担当していた方が立て続けに2人も辞めてしまった。今後の推進体制は大丈夫なのでしょうか。</p>	<p>(教育長) 現在は教育委員会内で分担して業務を進めています。また11月から専門員1名を雇用し、業務の引き継ぎを進めながら、今後の全町教育の推進を担って頂く予定となっています。</p>	<p>(学校教育課)</p> <p>11月2日よりあらたに専門員を雇用しました。11月15日開催の全町教育まつりにおいても、事務局業務を担っていただきました。引き続き、町教育委員会が新たな専門員とともに全町教育を推進してまいりますので、これまで同様、町民の皆さんのご協力をよろしく願います。</p>

意見・要望	現地回答	担当課回答
町内会に高齢者が多く、マイナンバーが送られてきたが、どうしたらいいのかと心配している人が多い。保管方法とか含め取り扱いの仕方など、なるべく一人一人がわかるような、例えば町内会単位などの説明会を開催してはどうか。	(町長) 開催方法については検討しなければならないが、説明会の開催をします。	(町民課) 庁内関係課で協議し、説明会を開催します。 (屈足支所) H28年1月にマイナンバーに関する説明会を予定のほか、各町内会、老人クラブ等の総会時等に説明会を実施します。(屈足支所)
屈足南小学校から屈足支所に行く通路が階段である。自転車などを押せる部分があるのだが狭い。高齢者で歩行補助車を使った人にとっては使いづらい。改善することはできないか。	(副町長) 現場を確認して検討します。	(屈足支所) H28年度に階段の一部を改修し、歩行補助車も利用できるスロープとします。
屈足公園の野球マウンド付近に遊具を設置するという話を聞いたが。	(副町長) 幼児向けの小規模の水遊び設備をという話が出ているが、まだその場所にするかどうかなど具体的には決まっている話ではありません。そういう話になった場合は、事前にパークゴルフ利用者や地域の方などと相談させていただきます。	(社会教育課) 具体的に決まっている話ではありません。そうなった際は事前に利用者や地域の関係する方と相談させて下さい。

意見・要望	現地回答	担当課回答
<p>生産人口の減少が激しい屈足地域ですが、第8期総合計画の中に屈足地域振興の取り組みを考え、入れ込んで欲しい。</p>	<p>(町長) 西十勝森林組合が屈足地域で事務所の建設をしたいという話は聞いています。</p> <p>(副町長) 西十勝森林組合で検討している林業学校の設置が前に進んでいくようであれば、屈足地域の活性化につながると考えています。「らら」で運営している福祉住宅の増築なども行っています。また、屈足地域の人たちと一緒に考え行動していける地域おこし協力隊を募集し、その人をキーマンとして活性化につなげることも考えています。</p>	<p>(産業課)</p> <p>現在、林業担い手育成のため研修体制の整備を検討しており、そのシステムが確立した後、林業学校の設立を検討します。</p> <p>(屈足支所)</p> <p>H28年度に地域おこし協力隊員を募集し、屈足地域の活性化に向けた取り組みを行い、各種イベント等の充実や地域のPR、情報の発信等を図ります。また、地域行事等の手伝いも行い、地域に溶け込んだ活動も検討していきます。</p>
<p>第8期総合計画でどうやってこれからの新得を発展させていくのか、例えば産業の振興など第1次産業の振興策など具体的に明記してはどうか。</p> <p>また、町立高校の設置を検討しているならば、町内にこれだけの福祉施設があるのだから、福祉系の学校にして地元で育てた人材を地元で雇用するといった方法をとるのはどうか。</p>	<p>無回答</p>	<p>(産業課)</p> <p>まちづくりの将来像を示すため、担い手確保・生産基盤整備・乳質向上等を主要施策として位置づけ産業振興を図る計画としています。</p> <p>(学校教育課)</p> <p>「新得町には高校が必要」との運動の議論の整理の場である町民意見交換会の開催に向け、準備会を設立し、町立高校設置に向け、子供の育成像や産業と連動した地の利を生かした高校など、町民にとって望ましい高校の姿について、協議してきました。</p> <p>学科については、地域資源を活用した学科を設置することにより、地域を担う人材を育て、地域が活性化する活力のある高校になるよう検討しており、今後、町民意見交換会を開催する際に、町の考えを示します</p>

意見・要望	現地回答	担当課回答
		<p>ので、町民の皆様のような意見をお伺いしたいと考えています。</p>
<p>除雪など地域の人たちで高齢者の家などを除雪して支えあっているが、支え合っている人たち同士が高齢者になってきている。 限界に近い状態である。 そろそろ人材を町で作っていかなくては支えきれなくなるのではないか。</p>	<p>無回答</p>	<p>(保健福祉課) 町の除雪サービスは、町社協に委託しており、現在13町内会と町内の個人や企業・団体ボランティアにより除雪体制の確保を図っています。町内会も高齢化より小地域での支え合いが難しくなっている現状は理解しており、今後は関係団体と協議し企業・団体ボランティアや有償ボランティアを中心とした体制整備について検討して行きます。</p>

「ぽっかぽか心トーク」 処理

会 場	公民館（研修室）	日 時	平成27年11月10日 18時30分	人 数	9人
出席者	町長、副町長、教育長、地域戦略室長、地域戦略係長、広報広聴係長				

意 見・要 望	現 地 回 答	担 当 課 回 答
<p>総合計画で住民との協働によるまちづくりと謳っているが、行政と住民との接点がどこにあるのかなと感じる。</p> <p>「まちづくり大会」が休止になった状態で協働によるまちづくりが本当に進むのだろうかと感じている。「まちづくり」という冠がついた講演会的なものが開催されてはいるが、そのテーマが町民みんな考えていかなければならない重要な地域課題なのかと疑問を感じる時もある。</p> <p>また、講演会形式は行政からの啓蒙・啓発の意味合いが濃く、協働とは程遠いのではないか。行政は町民の意見を積極的に聞こうとしているのか疑問に思っている。</p> <p>「まちづくり推進協議会」の委員は一定の年数に到達すると再任用されない。経験豊富な人材が切り捨てられている。高齢者の知恵をエネルギーのある若者とリンクさせたほうが積極的な町づくりが展開されるのではないか。</p>	<p>（町長）様々な方の意見を聞いた中でまちづくり大会が休止になった経過がある。時代の流れの中で民意が高まり、そういう機会が必要ということになれば開催を検討することは必要と考えます。町民みんなが参加して盛り上がってくれるのであればそんなにいいことはない。決して民意や議論を遠ざけようとしている訳ではありません。</p> <p>また、まちづくりの推進委員の関係は、委員の中に新しい人材がなかなか入ってこない状況になってしまい、様々な人の意見を広く聞ける体制をとということで、委員に任期の限度を設けました。高齢者や経験者など先輩方の知恵を借りるというのは重要なことだと考えています。</p>	<p>（町民課）</p> <p>住民と行政が共に考え行動することが、協働によるまちづくりにつながると考えており、現在も様々な活動の中で協働の取り組みが行われています。</p> <p>まちづくり大会につきましては、今後町民のみなさんが必要との高まりがあれば、開催を検討します。</p>

意見・要望	現地回答	担当課回答
人口推計で 5,600 人と推計されているが、その計算式は全国で統一基準の中で行っているのか。	(地域戦略室長) 国から示されているデータやプログラムを使い推計しているため、各地で算出している推計値にバラツキはないと考えています。	(地域戦略室) 現地回答のとおり
協働のまちづくりを進めていく上で、行政と町民が情報の共有を図っていくことが重要だと思います。最終的にはそこに住んでいる地域の人たちが知恵を出し合い、解決していくことになるので、行政が直接、地域に出向いて今のまちづくりの状況をお知らせすることも必要なのではないか。	(町長) 町内会ごとに役場の職員が担当制として、地域の人とコミュニケーションをとりながら色々な声を吸い上げて町づくりに生かしていくという考え方もあり、そういうことも考えていかなければと思っています。	(町民課) 連合町内会と連携し、地域の課題解決に向けた意見交換や情報共有を行います。 (総務課) 現在の出前講座を町民からの要望によって開催するだけではなく、必要に応じて行政側からの働きかけにより地域に出向いて施策や事業計画の状況をお知らせするなど、情報共有に努めていきます。
地域福祉活動では行政が計画を立て、実際に実行しているのが社会福祉協議会という仕組みになっている。高齢者がどんどん増えていく中で、もっと社会福祉協議会の体制を強化していかないと今後難しいのかと思います。	(町長) 社会福祉協議会の職員の待遇面など整理しなければいけない部分もありますが、検討していかねばと思っています。	(保健福祉課) 町としても、地域福祉の中核である社会福祉協議会機能の充実は重要であると考えています。 今後も社会福祉協議会と連携し、地域福祉の充実のため事業量に応じた体制の整備を図っていきます。
町内会活動の力が落ちてきている。もっと活性化するような支援が必要ではと感じている。例えば、地域おこし協力隊を使いコーディネートしていくのも方法かなと思います。また、福祉委員の役割や活動が見えてこないの、もう少しテコ入れをして欲しい。	(町長) 例として現在、屈足地域をターゲットにした地域おこし協力隊を来年度あたりで新規に採用し、地域力を上げる活動をしてもらうことを考えている。	(保健福祉課) 福祉委員は、平成 4 年から社会福祉協議会の呼びかけにより各町内会において自主的に設置されており、社会福祉協議会では、毎年福祉委員会議を開催し、福祉委員の役割の例示や町内会での活動例の報告を行い、町内会による福祉活動の活性化につなげています。今後は、社会福祉協議会と協議し福祉委員の役割の明

意見・要望	現地回答	担当課回答
		<p>確化について検討していきます。</p> <p>(町民課)</p> <p>活性化につながる支援を連合町内会と協議し、屈足の協力隊の活動を参考に町内会活動に取り入れられるかを検討します。</p>
<p>町内会内にお試し住宅があり、1ヶ月やそれ未満で入居者が変わっているが、誰が入っているのかもわからないので対応に苦慮している。</p>	<p>(地域戦略室長) 特段、町内会として対応してもらうことはないのですが、どういった人が入っているのか町内会長にお知らせするようにします。</p>	<p>(地域戦略室)</p> <p>現地回答のとおり</p>
<p>陶芸センターの受講者が年々少なくなっている。また、道内でも珍しい登り窯が受講者の減少により例年2回実施していたのが、今年は1回の実施になってしまった。このまま受講者の減少が続いてしまうと陶芸センターの閉鎖ということも考えられるのではないのでしょうか。</p>	<p>(副町長) 登り窯は道内にも数少ないものなので残していきたいと思っていますし、受講者増に向けた取り組みも考えていきたいと思っています。</p>	<p>(屈足支所)</p> <p>受講者の高齢化等に伴い、減少傾向にあります。管内で唯一の登り窯のある陶芸センターであることのPRを行い、町外も含めて受講者を増やす取り組みを図ります。</p>

意見・要望	現地回答	担当課回答
<p>狩勝峠のトイレが傷んでいるところがあると聞いた。また、トイレトペーパーが付いていないのは了解しているが、利用者が中に入ってから困らないように、表にその旨の張り紙か何かで告知をしてはどうでしょうか。</p>	<p>(副町長) 状況を確認して対応します。</p>	<p>(産業課) 故障箇所につきましては管理委託会社からの報告もあり、修繕を実施いたしました。また、トイレトペーパーにつきましては、設置していない旨の張り紙を掲示しておりますが、掲示箇所を増やし、利用者が困らないように対応してまいります。</p>
<p>観光客に町の観光案内をすることがあり、その際に自分自身も陶芸センターに通っていたことがあるため陶芸センターの話をする時もある。しかし、残念ながら陶芸センターは土・日曜が休みである。観光客などに利用してもらうなど利用者の増を考えるのであれば、販売所だけでも土・日曜日の開館も必要なのではないか。</p>	<p>(副町長) 現状を確認した上で検討します</p>	<p>(屈足支所) 現在、9講座を開設し、2名の指導員体制で販売も行っています。休日の開館となると現在の体制では難しいと考えますが、現在行っている勤労者向けの夜間講座を土曜日に振り分け、販売も行えるような体制ができるかどうか検討をします。 また、現在、東大雪荘、レイク・イン、クラブメッド等で陶芸センターの陶芸品を販売していますが、取り扱う店舗等を増やすことで、陶芸センターのPR、販売促進を図ります。</p>
<p>以前に教育長には伝えてありますが、全町教育推進本部という名称が学校教育法、社会教育法に基づいて考えると違法性の感じが強い。法律解釈の問題ですが、ぜひ内部で慎重に検討して欲しい。この場での回答は必要ありません。</p>		<p>(学校教育課・社会教育課) 全町教育については、学校教育と社会教育の両分野にかかわる事項であり、現在は、両課が分担して対応しております。 現在、推進本部組織のあり方についても再検討しており、誤解が生じないよう対応して参ります。</p>

「ぽっかぽか心トーク」 処理

会 場	山の交流館とむら	日 時	平成27年11月11日 19時30分	人 数	9人
出席者	町長、副町長、教育長、地域戦略室長、地域戦略係長、広報広聴係長				

意 見・要 望	現 地 回 答	担 当 課 回 答
第7期総合計画までの計画の達成率は。	(地域戦略室長) 正式な数値としては表していません。評価としては概ね推進したと考えています。	(地域戦略室) 現地回答のとおり
<p>第8期総合計画の中で若者にとって魅力のあることって何が組み込まれているのでしょうか。</p> <p>第8期の計画にいろいろと組み込まれているが、普段生活していて感じることは、新得町はここに力を入れているなというところが感じ取れない。</p> <p>人口減が一番の問題だと思うが、であれば子育てしやすい環境の整備をし、産み育てていくことが重要なのではないか。トムラウシで言えば、子供たちが増えたことにより、こじか園を今は町立で運営してもらっていますが、子供たちが減ったとしてもこれからも町立で運営し、子育てしやすい環境の整備をお願いしたい。</p> <p>十勝管内を探してもトムラウシのように同じ建</p>	(町長) こじか園のことについては内部で協議中ですが、例えば子供が一人でも保育園で預かる状況にあるのであれば、それはそれで考えていかなければならないが、まず、保育園に入所できる条件をクリアしているか、その親が本当に保育園に子供を預ける状況にあるのかも検討材料になります。保育にかけなくても良い状況にある一人の児童に対して、一人の保育士をつけて、それが町民みんなの理解が得られるのか、そういったことも考慮しつつ合意形成をしていかなければならないと考えています。何れにしても目先のお金だけで判断することはないです。	(児童保育課) 両親の就労、妊娠・出産、求職など「保育の必要性」がある子どもたちが保育所へ入所できます。ただし、地域柄近隣に幼稚園等もないことから、柔軟に対応している状況です。 今年度からの子ども・子育て支援新制度において、少人数保育所の認可保育所への移行が可能となり、給付も受けられることとなりました。こういう制度も検討しながら、どのような形が地域として一番良いか検討しております。 今後も地域と協議しながら、策を講じてまいります。

意見・要望	現地回答	担当課回答
<p>物内に保育園、小学校、中学校が同居している非常に望ましい環境が他には無いと思う。ぜひ、保育園も含めて町立で安定した運営をし、そこに地域の人たちも絡んで、みんなで子供達を育てていく環境を続けていけるようにしてほしい。</p>		
<p>学校に衛星インターネットを整備してもらっているが速度が遅い。高速インターネット環境の整備をお願いしたい。また、冬季になると屋根に設置されている衛星アンテナに雪がつき、通信状況が悪くなる。雪を取るのに毎度屋根の上に登る状況なので改善してほしい。</p>	<p>(教育長) 今年、衛星インターネットの中でより速いプランのものに変更していますが、再度、内部でよりよくできるのか協議していきたくと思っています。 アンテナの件については、担当も承知していることなので対応を検討していきます。</p>	<p>(学校教育課) 現地回答どおり</p>
<p>山の交流館とむら前に横断歩道が無く、設置について警察に要望中である。事故の危険性があるので、設置に向けた町からの後押しを継続していただきたい。</p>	<p>(教育長) 町民課を通して公安委員会に継続して要望していますが実現には至っていません。引き続き要望していきます。</p>	<p>(町民課) 引き続き要望していきます。</p>
<p>地デジケーブルの新設の経費負担については、個人負担額が市街地での設置と同額程度となるようお願いしたい。</p>	<p>(地域戦略室長) テレビを見れるようにするのは基本的には放送事業者が行うことになっています。国の政策により地デジ化の切り替え時には、トムラウシ地区にその時に住んでいる人たちが見れなくなることを避けるため国の事業により行っています。ですので、新規にトムラウシ地区に入ってきた人を対象として国が実施することはありません。それを町が代わりに対応するかは検討中です。</p>	<p>(地域戦略室) 現地回答のとおり (新年度の予算化に向けて検討中)</p>

意見・要望	現地回答	担当課回答
山村住宅、教員住宅に屋外水道設置をお願いしたい。	(教育長) 状況を確認させていただいたうえで必要性も含め対応を検討します。	(学校教育課) 現地回答どおり
<p>直接行政に関係ないのですが、観光客が来て駅の待合にいるが、駅のキオスクが早朝や日曜日に営業していないので寂しく感じるのでは。観光の町として売っているのに日曜定休の店が多くて寂しい。</p> <p>こちらに移住して思ったことは、日曜日に店が休みのところが多いと感じた。観光客が来るのは日曜とか休みの日が多いので、お店がやっていたら活気のある町だなという印象を受けるのではないか。</p>	(町長) 気にはかけています。	(産業課) 営業日については、各事業所の判断によるため、強制できるものではありませんが、休日の営業についての働きかけは行っています。
前から要望はさせていただいているのですが、東大雪荘の日帰り客への食事の提供時間をもう少し遅い時間までやってもらうことはできないか検討していただきたい。	(町長) そういう話があることを踏まえますが、経営の中での判断となることを承知いただきたい。	(産業課) 現在東大雪荘のレストラン営業時間は 11:30～14:00、17:30～20:00 となっております。従業員のシフトの関係や準備時間等により営業時間を延長することは難しい状況ですが、時間外のお食事については前日までにご連絡いただければ対応できますので、お気軽に東大雪荘にご相談ください。